平成２６年度　鹿児島県小・中・高・特別支援学校ＰＴＡ広報紙コンクール審査評

１　総合所見

（1）　記事内容、紙面構成、見出しなどに工夫がみられ、読んでもらえる魅力ある広報紙づくりへの努力が感じられた。

（2）　小学校では、年間テーマを設定し一貫性のある記事内容で、情報発信力を高めている広報紙が増えてきている。

（3）　中学校では、会員の欲求・要望に応えようとする紙面づくりへの姿勢がうかがえた。
　また、学期ごとのＰＴＡ活動の様子がよく分かるように工夫している紙面もみられた。

（4）　高等学校では、テーマを設定したりアンケート調査したりして、読み手を引き付ける紙面づくりの工夫がみられた。

（5）　特別支援学校では、子どもの成長を中心にしながら、ＰＴＡ活動との関わりを視点にして写真や文章構成を考えるなど、各校での工夫がみられた。

２　今後の課題（留意してほしいこと）

（1）学校行事を取り上げることが多いが、行事の写真紹介のみで終わるのでなく、ＰＴＡとしての視点やかかわりから記事にしてほしい。

例　○　写真撮影が子どもに向きやすいが、会員、来場者などへもカメラを向ける。
　　○　「運動会を支えるＰＴＡ活動」として、会員の活躍を記事にする。
　　○　「修学旅行の感想」を子どもに書かせるのではなく、親の思い、旅行後の親子の会話などの文章で紙面を構成する。

（2）広報紙をいっそう充実させるために

○　何を伝えたいかを大事にし、例年の記事内容を「変える勇気」を持ってほしい。

○　各号の１面を大事にしてほしい。
　（読者の目を引き付け、伝えたいことが分かる紙面に）

○　学級ＰＴＡなどで、自校発行の広報紙を使い研修する機会を設ける。
　（特集記事などを基に話し合うことで、会員の資質向上と広報紙への関心が高められる。）

○　広報紙発行のテーマを設定したり、年間の編集計画を策定したりしてほしい。
　発行の目的がはっきりすると、目的に合うように写真や記事内容が変化し、読者の求めるものにいっそう近づくと思われる。

（お断り）

* 個人情報保護等のため，紙面の一部を加工している広報紙があります。
* 広報紙の審査は，掲載されている紙面だけではなく，H26.2～H27.1 に発行されたすべての新聞を対象にしています。

※ 応募点数 161 点（小 83 点，中 43 点，高 20 点，特 15 点，地区審査会を含めた参加校総数は合計 258 校）※ 審査期日　平成 27 年 2 月 20 日（金）